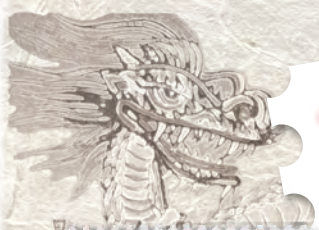


令和3年度 冬の特集展



祭

しんがみで魅せるふるさと



2022年1月18日 火 ~ 3月27日 日

入場無料
Admission Free

【開館時間】 9:30~17:00 【休館日】 月曜日(祝日の場合は翌平日) 臨時休館日



独立行政法人国立印刷局

お札と切手の博物館

Banknote and Postage Stamp Museum

〒114-0002 東京都北区王子1-6-1
TEL: 03-5390-5194
<https://www.npb.go.jp/ja/museum/>

【アクセス】 JR京浜東北線「王子駅」(中央口)下車 徒歩3分
東京メトロ南北線「王子駅」(1番出口)下車 徒歩3分
都電荒川線(東京さくらトラム)「王子駅前」下車 徒歩3分



やむを得ず会期や開館時間を変更する場合があります。詳しくはホームページをご覧ください。電話にてお問い合わせ下さい。また当面の間、団体の予約を休止します。

祭



～切手で魅せるふるさと～

切手は本来郵便制度を支えるツールですが、そのデザインを通じて、コレクターアイテムや情報伝達手段としての役割もあります。なかでも、平成元(1989)年より発行が始まったふるさと切手は、地方の経済発展、観光振興につながるメッセージを伝える役割が期待されてきた切手です。本展ではふるさと切手の多くに取り上げられてきた「祭」について、モチーフとしての役割と、これらの切手の様々な表現に使われた国立印刷局の技術について解説いたします。



- 1 ふるさと切手で初めて祭をモチーフとした切手
大曲の花火(秋田県) 62円 平成2(1990)年
- 2 チャグチャグ馬コと岩手山(岩手県) 80円 平成10(1998)年
- 3 鶴崎踊(大分県) 62円 平成4(1992)年
- 4 秩父夜祭(埼玉県) 80円 平成12(2000)年
- 5 切手のグラビア印刷の様子

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために入館に際しては以下のご協力をお願いします。



独立行政法人国立印刷局